

【刊夕】日九十月一

原五後郵錢十五月一 錢貳金部一 價定
 錢十五行一語字三十號五 料告廣
 治文崎川人刷印入編編發行發
 五三町橋長町平郡城石縣島福
 番〇三六話電 社聞新日每警常 所行發
 社會式株刷印日新警常 所願印

低物價政策を排す

現内閣は緊縮政策を以つて其生命となし、組閣以來凡る方面に向つて其政策の遂行をなさん事を聲明し、我が國の經濟状態を常道に復せしむるには緊縮政策に依る外なしとなし、極端なる經費の緊縮を行ひ、既定事業の繰延或は打切等を實行せるがため、各行面に影響を及ぼし、さなきだに不景氣なる世相に斯の如き政策の遂行を強ひたるがため失業は續出し、彼等自らの政策に反する募債政策を以つて此失業者を救済せんとせざるが如きは實に笑止の至である。

殊に彼等の提唱せる舊平價の金解禁、並に誤れる低物價政策は、中産以下の國民をして塗炭の苦をなめしめ、殊に不徹底且偏頗なる低物價政策は、全産業の基礎をなす農業をして將に破産に瀕せしめんとする現狀である。例へば貫參圓貳參拾錢の生産費を要する繭が貫僅に貳圓内外で以つて如何にして其の收支が償へるか。更に又米價に至りては

豊作のためなりとは言へ、石二十六圓の生産費を要するものが、石十五圓内外で如何にして彼等の經濟が維持出來やうぞ。一方彼等の負擔は依然として好況時代其儘であり、何等輕減されざるのみか、貨幣價值の騰貴により、却つて負擔の過重に苦む状態であり、此誤れる低物價政策こそ、所謂苛歛誅求でなくして何であらう。

試に思へ全國農家の經濟状態が一俸給生活者に及ばざる事を、中産階級以下の農家の全収入は價格の暴落に依り五六百圓乃至七八百圓程度に過ぎず、俸給生活者にありては中流以下にありても尙五六百圓はザラにあるのであり、前者に於ては家族一同暑に星を戴いて出で、夕に月を踏んで歸り、後者は只一人の收入にして、然も一週一日の休日あり、家族は安逸なる生活をなしつゝある。生活の懸隔斯の如し。思想惡化の因又此の如き所になしとせず。更に又低物價政策を探りながら

森 榮



雑詠 平町 溪 雪

初雪の灯寒き草家哉
 空家の軒先長き氷柱哉
 雪はれの日射明るき草家哉
 店先に幟立てたる初荷哉
 朝まだき初荷の馬の通りけり

美佐男御召と
 優秀銘仙陳列特賣
 三井呉服店

ヨウ！モーダン！
 い服を求めたね
 斷然三一年型だよ
 いやコレカネ
 例の……「ソレ」

正札堂

目丁四平
 ヤトモツマ
 番四一二話電

六三四電通場車停目丁四町平

福袋

1ヶ 50

目丁四平
 ヤトモツマ
 番四一二話電

神戸牛そこのけの
 優秀清新の……

牛肉大値下

ヒレ	百匁	九〇〇
ロース	同	七〇〇
上肉	同	四〇〇
並肉	同	二五〇

お用命次第いか程にでも早速お届け致します
 電気すき焼器を取付けました
 スキッチひとねじりで直ぐグツグツと
 煮上ります、正に超スピードです……

味は？これ自慢ながら
 百パーセントです
 お家族様御同伴を歓迎いたします

牛豚鳥料理 石川亭
 平町 田町
 電 四三

夜間も診療致します

丹野齒科醫院

日本大學 丹野 淳
 齒科醫學士
 平町白銀町十五番地
 (鐵道官舎隣)

粟守酒

(一) 男女の消化器、呼吸器、神経系の滋養強壯劑
 鎮痛劑として昔から皆様が御認めの御藥酒粟守酒
 (二) 慢胃加答兒、肺結核、肺癆、神經衰弱、頭痛
 目まへ、手足や全身のシビレルにもよろし
 右暫く品切致し皆様に御不自由を相掛ましたが愈々
 今回新品優良品が着荷致しましたから何卒不相變御
 愛用下さい。

平町古鍛冶町縣社ノ下
 粟守酒特約店 阿康藥舖
 電話 四四

専門 内科一般

宅診 内科は何でも診療致します
 往診 呼吸器病ばかりではありません
 平町南町六五(元大和田耳鼻院跡)

川井内科診療所

醫學士 川井重之
 女醫 川井安子
 電話 一八一番

難病ニ正シキ光線治療

天佑堂

治療時間 自午前八時 至午後九時
 平町町(末廣亭向ヒ)

平庶民金庫

昨日總會を開く

剰餘金は前年の倍額に 好成績な其業績

信用組合平庶民金庫にては昨日午後一時から組合事務所にて總會を開き、右總會は組合員五十名中より一名宛選され組合員の意志を代表するものにて從つて總會は組合總會に代るべき會合である爲め注目を引くが提出議案左記の如くにて

- 一、昭和五年度財産目録、貸借對照表、事業報告、剰餘金處分
- 二、餘裕金は定款第五十八條の定むる所に依り保證責任、福島縣信用組合聯合會、産業組合中央會、平郵便局、株式會社七十七銀行平支店、株式會社常磐銀行平支店、株式會社福島縣農工銀行に預入すること
- 三、昭和六年借入金最高限度を金拾貳萬圓とすること
- 四、貸付金最高限度を擔保にて金參千圓信用にて金貳千圓とすること
- 五、信用評定委員任期満了に付改選
- 六、監事の任期は來る三月二十四日任期満了に付本日の通常總會に於て選舉を行ひたし (前年通り)
- 七、定款は昨年八月二十八日臨時總會に於て變

を貸付資金に運用すること
剰餘金は殆んど前年度の倍に達し其の額の七千三百九十九圓五十錢の處分左記の如くである

- △二千二百七十圓廿錢 準備金 (剰餘金の四分の一強)
- △三千四百七圓八十錢 配當金 (出資拂込済の率六分)
- △二百九十一圓五十錢 別途積立金
- △三百五十圓 役員退職給與基金
- △一千八十圓 役員賞與金

空地利用の 果樹苗木を

一本四錢で交付 石城農試分場が育成

本縣では農家の空地利用奨勵として果樹苗木一萬三千六百本を一本四錢宛で交付すべく目下希望取纏め中である同苗木は石城農試分場分場で縣の委託によつて育成したもので柿八千八百本、梅四千八百本、一郡内一ヶ町村を選定八百本見當を以て來る三月末までに交付するものである

術員の發表を見た

- ▲大浦、大野、草野、神谷、平 (折笠千吉) ▲平窪高久、豊間、江名、小名濱、飯野 (紺野正夫) ▲赤井、小川、川前、好間、(加藤貞) ▲三坂、澤渡、永戸、箕輪 (二田彦四郎)
- ▲内郷、湯本、磐崎、玉川、鹿島、泉、渡邊 (石垣理紀之助) ▲入、上遠野、石住、田人、貝泊、荷路夫 (高橋正) ▲植田、山田、錦、川部、勿來、(舟生万吉)

桑園改良 指導員發表

桑園改良を主眼とする農山村低利資金特融に關し石城養蠶同業組合では久ノ濱蠶業取締支所と協力して荒廢桑園の改良指導を行ふ事となりこの程左の如く指導技

神谷收入役辭職

石城郡神谷村收入役神谷龜松氏は過般役場に出勤中腦溢血で引續き、養中であつ

たが當分激務に堪へ難く十分辭養したいとの理由で七日同村長まで辭職願を申出た

神谷俵米品評

石城郡神谷村では同村農會主催俵米品評會を來る廿日廿一日の兩日神谷農倉庫に於いて開催審査は本名瀧穀物検査所平支所長である

鈴木氏が再選

石城郡好間村收入役鈴木榮一氏は來る廿六日を以て任期満了となる十七日の村會に於いて満場一致再選と決定

内郷寒稽古納

石城郡内郷村武徳會にては去る六日より二週間の間武徳寒稽古を行つたが十八日の納會日に當り午後五時から精勤者に夫々賞狀を贈つたと

入山驛傳競争

石城郡湯本町入山驛では今十八日の公休を利用して同所グランドと小名濱町間の驛傳競争を行ふと

平町昨年中に 説諭科料件數 おける

説諭又は注意を與へたるもの乃至は即決料を言渡したものの等は數はさすがは縣下の大署だけに斷然多く料金千圓以上に達してゐるとはまことに勿体ないことだが、然しそれも一般の人々が注意を欠いた結果による代償ならやむを得ない話だらう、數字を示せば左の如し

注意を受けた者九千六百七十八人、説諭を加へられた者九千五百二十四人、即決料處分四百六十八名

色魔の 師欺詐大

柳田を捕縛する迄

- ▼ 本名 青木由五郎 (前科三犯)
- ▼ 原籍 神奈川縣浦賀町
- ▼ 平地方にての偽名 柳田辰五郎
- ▼ 房總地方にての偽名 森本友三

根本 毅

海抜一千六十餘尺安房上總の分水嶺。行基菩薩によつて開基せられたと云ふ日本寺。千五百体の五百羅漢は有名なもの。いづれ時と金があつたらと此處も亦素通り。然し人力も又偉大なる哉だこの鋸山の土手つ腹をブツコ抜いてトンネルと

して僕達の汽車がスル／＼と突んぬ抜けてしまふのだライオンさんの下つ腹を破るよりは余程骨の折れた事だらう。

ば煙霞の中に薄墨をボカしたやうな伊豆相模の連山。その上に突如として白雪を製尼富士の秀峰幾分薄紫を帯びて見えるあたり到底も僕等のやうなまはらぬ筆でこの美景を現はし得るものではない。

二時四十分木更津に着く。晝食を攝らないので腹も少々北山加減。上總西海岩第一の都會どうせ次手でもあから彼奴柳田の足跡の有無も調べて見たい。それに奥津の駐在所へ今日和田浦町の駐在所で發見した千葉縣警察報の抜き書を手紙にして知らして尙ほ今後の事をお願ひしたいと途中下車で先づ小料理屋へ入つて腹を拵らへ用箋と封筒を貰つて走り書きに書きなぐつて投函。鐵工所の有無を尋ねたが以前は在つたが今は此の邊の漁船には發動機を使はないからないとのこと。この方は調べる要がないと思ひ切り。寺名は忘れたが芝居で有名な柳田よりはモット粹な悪王の切られ與三郎の墓も話の種に見物し。

昭和二年六月の一日二回在の供養塔を讀み果して實忌

暖かな冬物の御用意

買よき店

モリタヤ洋品店

平五 三三三

「オウヨ 吸取紙のことを英語でなんて云ふかノウ」
「アングロウ吸取紙かねえ」
「プロツテイングベイバでなかんべかノウ」
飾り氣のないお國訛りで取り分け自分の郷里の言葉の尻上りなると反して尻下りになる話尾のアクセントも一種の節の如くで無聊のぼくの耳を喜ばして呉れる

磐越銀行

破産の内幕話

暴慢な営業振

遂に破産の宣告を受けた平町の磐越銀行は去る三年十一月十九日以降は預金を支拂はず、休業もせず、平然として

△開店し たま、今日に至つたもので預金者が引出しに行けば金がありません今暫く待つて下さいといばかり定期預金などは期限がきても利子すらも支拂はなかつたので頭取中野甲藏氏はすでに一昨年来銀行には殆ど姿を見せずし

△税金を 滞納し平税務署や縣や町から金庫を差押へられたり電話や机その他の什器を競賣されんとしたことも一昨ではなく果ては行員の俸給すらも拂はず現在では僅に

△數名の ものがあつたばかりで行内ガランとして開店してゐる空家のやうになつてゐた、濱のボテ振り兄連が零細な貯金とれず、酔つた勢いで貯金帳を突きつけながら怒號してゐるのが聞える位のもので二ヶ年余り事實上

△營業を 停止してゐたものである、それでも一方においては四十余萬圓の未拂込株金がある所から三年三月には一株七圓五十錢四年三月には一株十二圓五十錢の未拂込徴收の通牒を

からあげら... 検査役辯護士永野柳造氏は約七ヶ月に亘り銀行内容を検査したところ貸出は大部分重役關係ばかりで一行員に十萬圓近くも

△貸出し てありながら金庫内の現金はたつた四圓ばかりといふのにつづくりしたのであつた。不良貸付の大部分は重役關係である中野頭取は東京に

△立派な 住宅を構へてゐるとの説もある、投機に手を出し失敗したといはれてゐる。しかしそれにしては八十餘萬圓の貸付金が殆ど回収不能に近いとは驚くべきではあるまいか。何が銀行を破産させた？秘められた疑問の謎は破産によつて近く解かれんとする

各種の統計から

平町を覗く

福島、郡山、若松との比較 益々發展する一方

平町の統計から覗いた五年程度における縣内福島、若松郡山三都市の各種比較を見ると

平局の電報、發着中繼は計二十七万五千七百三十三通で福島局に次いで第二位を占め、郵便は引受け二百八十五万三千九百七十三通、配達三百二十六万六百八十八通で福島、若松の順で第三位、貯金は預入れ百七十三万六千五百圓、拂戻額百六十二万八



明日のラジオ 二十日 報豫氣天 今晩も明日も西の風晴れたりつたり気温はいくらか和らぎます

- 前七、〇〇 ラヂオ体操
- 前九、〇〇 氣象通報
- 前九、〇〇 經濟市況
- 前九、〇〇 料理献立
- 一、鶴岡、二、蟹、餅中村彪發表日用品値段
- 前九、三〇 經濟市況
- 前一〇、三〇 家庭講座
- 「子供帽子の製作に就て」
- 前一一、四〇 經濟市況

粒々辛苦の金

一千圓が水泡 哀れ精神に異状を來し 玄關に打臥す

磐越銀行の破産に對し平町四丁目大浦かね(三)假名は粒々辛苦の金約一千圓を預金してゐたが全く水泡に歸したので哀れにも精神に異状を來し玄關に打臥して立去らず行人の同情を集めてゐる

平驛沿革史

資料蒐集中

平驛では近く正式な沿革史を編纂する事となり驛長自身が十六日以來参考資料を蒐集中である

磐越の總會

破産でお流れ

別項破産の宣告を受けた平町磐越銀行では宣告を受け

- 後三、四〇 氣象通報(積雪量)
- 後三、五〇 經濟市況
- 後四、〇〇 ニュース
- 後五、三〇 經濟市況
- 後五、四五 今晩の番組豫告
- 後六、〇〇 子供の時間
- 「武勇童話」江見水陰
- 後六、三〇 文藝講座「名作のグリュムプス」豊島與志雄
- 後七、〇〇 ニュース(官廳ニュースを含む) ニュース、氣象通報、番組豫告、告知事項
- 後七、二五 講演「英語のお土産話」侯爵前田利為

麻雀稅徵收

平町の新設

平町では明年度から新税として圍碁、將棋俱樂部に對し一ヶ月一圓宛の課税をする事となり十六日縣に對し徵收方を伺ひ立てた同町で兼へ上申中の麻雀稅全額は同縣會により縣も徵收を決議したので明年度から徵收する事となつた

海岸の波に漂ふ

燃える様な衣裳 情死者の遺留品か?

石城郡豊間村磯海岸に去る十六日朝燃える様な錦紗の長襦袢一枚が漂着したのを附近の漁夫が発見届出たが情死者の遺留品の見込みで平署では取調べに掛つた

無料診療

三四の兩日間

仙臺放送局にては來月三四の兩日間平町ラヂオ商組合後援にてマルトモホールにてラヂオの無料診療を行ふが時間は午前九時より午後三時迄である

杉立木入札

四倉役場で

石城郡四倉町役場では來る二十二日午前九時より午後二時迄役場内に町有山林字和貝杉立木千五百五十三本の入札を執行する

河中に轉落

其儘溺死す

石城郡三坂村大字下三坂字明戸永山茂吉(五)は十七日泥酔の結果河中に轉落溺死したと

大浦共米販賣

石城郡四倉町大浦農業倉庫に於る十五日の定期米販賣は總數七十五俵であつたが相場は四等米一俵六圓二十錢で去る一日の販賣に比し二十六錢高値を示した

